

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき  
高梁川流域の  
指定文化財(史跡)



場所

・倉敷市連島町連島



時代

・古墳時代



指定年月日

・昭和47(1972)年

9月29日



所有

・梅雲寺



## ばいうんじこふん 梅雲寺古墳

新高総早  
見梁社島  
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



### この史跡について

連島町連島字茂浦の山のふもと、梅雲寺境内近くの斜面に存在する古墳時代後期の古墳です。南向きに開口した横穴式石室が遺されています。

古墳が造られた時代には、山のふもとまで海が近づいていました。海を見下ろす場所に造られたのでしょうか。

やがて、海が埋め立てられ村が大きくなり、寺が建てられるにしたがって、古墳は削られ、その形はゆがめられてしまいました。石室の羨道も古くに失われています。

棺を納めている玄室の規模は長さ6.23m、幅1.35mで、高さは現状で約1.7mです。東側の石材は寺の地圧により西側へ傾いています。現在は、崩れないように、石室の中に山土をつめて石材を支えています。